

✓ 着用ポイント

1) ジャケットがシングルの場合、カマーバンドかベストを着用する。



2) パンツの裾口はシングルで仕上げる。

本来であればパンツの股下の長さは正確に自分のサイズに出来上がっているべきで、折り上げて長さを調節するのは股下寸法が正しく出来ていない証拠です。カジュアル着ならともかく、フォーマルウェアは正確に出来ていないではいけないので、折り上げるようではいけない、というのがフォーマルウェアのパンツの裾がシングルである理由です。



3) サスペンダーを使う。

4) シャツは通常襟でもウイングカラーでもどちらでも可。カフスもシングル、ダブルどちらでも問題ありません。



5) ネクタイは拜絹と共地の蝶ネクタイ(ボウタイ)。基本的には黒の蝶ネクタイを使用するのがルールですが、正式な祝宴以外であればこの限りではなく、私もミッドナイトブルーの蝶ネクタイを使う時もあります。



6) 靴はエナメル素材を使いましょう。女性の長いイブニングドレスの裾を靴墨で汚さない様にとする配慮から、靴墨なしで手入れ出来る靴でないといけません。というのが理由です。又靴下も靴の色に合わせ黒を使用するようにしましょう。



7) 白のシルクのポケットチーフを挿しましょう。

8) 黒やミッドナイトブルーのタキシードが正式であるのに対して、ややくだけたものとしてファンシータキシード(替わりタキシード)があります。

欧米ではホームパーティやリゾートパーティなど気楽な機会に手軽に着られているのですが、パーティウェアとして黒のタキシードよりも少しくだけて着ることが出来ます。私もカジュアルパーティ用のこの白のタキシードも持っています。



昼間の略礼装 ディレクターズスーツ



着用機会	祝儀	結婚披露宴、略式式典、歓送迎会
	不祝儀	一般焼香、葬儀の手伝い、法要

モーニングスーツが簡略化された、世界に通用する昼間の略礼装です。アクセサリを変えることで祝儀、不祝儀いずれの場合にも着用することが出来ます(喪の場合は黒着用の為、私のこのミッドナイトブルーのディレクターズスーツは不祝儀には着用することが出来ません)。

✓ 着用ポイント

1) ジャケットは黒(祝儀の場合はミッドナイトブルーでも可)、型はシングルでもダブルでもどちらでも構いません。前ボタンは少ない方がドレスリーとされていて、ベント(ジャケットの後の切れ込み)はディナーズーツ(タキシード)と同じく、センターベント、サイトベント、ノーベントいずれでも差支えありません。



2) ベストはジャケットと同じ生地、もしくはライトグレーや他の生地を使用します。祝儀の場合はジャケットとベストの生地は異なっても大丈夫ですが、不祝儀の場合は必ず同じにしてください。



3) パンツは、黒白グレーのストライプ柄を使用し、ディナーズーツ(タキシード)同様裾口はもちろんシングル仕上げで、サスペンダーを使うようにしてください。



4) シャツは通常襟。カフスはシングル、ダブルどちらでも問題ありません。

5) ネクタイは祝儀の場合は白黒の斜め柄、シルバーグレーの無地、黒とシルバーグレーのペイズリータイの中から選ぶようにしてください。不祝儀の場合は黒の無地を使用してください。



6) 靴は黒色の靴を履きましょう。



7) 白麻のポケットチーフを挿しましょう。